

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクルール今事業所					公表日 2025年12月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準は満たしているが、作業時に10名の利用者がある時は手狭な感があるが、工夫して対応している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		適切である。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		常に整理整頓し、構造化も行っている。	2階に支援室があるためバリアフリーとは言えないが、手摺も増設し場合によっては、付き添いも行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		常に整理整頓、清掃を行っている。また、空気清浄機や加湿器も設置し、衛生管理にも努めている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別ブースの他、面談室、防音室（カラオケ用2基）設置しており、必要に応じて使用することが出来る。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々の振り返りや定期的な目標の見直し等が出来ている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケート結果を基に意向等を確認し内容によっては改善を行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティング、あとは必要に応じて反映できるようにしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価は実施予定なし。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		最低限の研修はもちろんのこと、個人のスキルアップのための研修や施設見学等も積極的に行っている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域を網羅した支援プログラムを作成、実行し公表もしている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々、子供や保護者とコミュニケーションを取り、また独自のモニタリング表を用いて作成をしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		各担当指導員と児発管。また指導員間でも検討が出来ている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		保護者からのフォーマルな情報や日々の各活動日誌により確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		設定されている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全員で意見を出し合いながら、充実したプログラムになるよう努めている。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年12月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		常にリニューアルやバージョンアップを意識し、マンネリ化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		こどもの状況に応じて出来ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		出来ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎がない日は、その日に振り返りや気付きを共有するようにしているが、基本翌日の朝礼時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個々の各活動ごとの日誌を用いて出来ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回、高等部3年生は年3回行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			創作活動と地域交流の機会の提供は出来ていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		場の設定内での自己選択、自己決定は常に心掛けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		可能な限り、担当指導員と児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	情報提供および必要な情報は取りに行くようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校情報は、送迎時での確認・HP・利用者本人や保護者の情報等から、常に把握するように努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		受け入れする利用者年齢が対象外のため行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		必要に応じて行いたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		今のところ予定はないが、保護者、利用者からのニーズがあれば、その時に検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		必要があれば参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時やFB面談時やイベント等、また必要に応じて電話でも行っており、共通理解を持っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		夏季に家族や友人と参加できる研修会や保護者参観により行っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクルール今事業所					公表日 2025年12月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や必要に応じて行っている。			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		年2回の面談時に設けている。			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		署名により同意を得ている。			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、対面や電話で行っている。			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者研修会や保護者参観、夏季イベント等の機会を設けている。			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情に限らず、些細なこと等感じたり話が出た場合、迅速かつ適切に対応している。			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページ内や年4回の通信やレターにて発信している。			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		細心の注意を払っている。			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		話し言葉に頼らず、できるだけ文字に起こしたり、絵や写真を使ったりして、理解の促進に努めている。			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		行っていない。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年間計画に沿って訓練を実施し、不審者対応やてんかん等の研修の実施。契約時や通信にて周知を行っている。			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難訓練や災害時の引き渡し訓練、救急法など定期的に行っている。			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時のアセスメントや必要に応じて確認をしている。			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	食事の提供は行っていない。			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を基に行っている。			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時と通信にて周知している。			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し活用できるようにしている。			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		全職員が研修ビデオや事業所内での講義を中心に対応している。また、指針を作成し虐待防止委員会を設置し定期的開催している。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクルール今事業所				公表日 2025年12月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		指針を作成し、契約時に説明をしている。	今までに事例がないため計画書に記載はないが、予想される場合は対応していきたい。	